

たっちゃん池の魚

発行 北川たっちゃんの会

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

2010 年 12 月 12 日

Vol. 86

初冬、

紅葉最後の見納め号



たっちゃん池の魚類等調査と清掃を実施しました

11 月 7 日（日）、狭山公園宅部池（通称「たっちゃん池」）の魚類等調査と清掃を実施しました。当日、午前中は曇りがちだったものの午後からは晴れ、絶好の作業日和となりました。参加者も多く、北川たっちゃんの会以外からも各地の環境団体、明治大や実践女子大、麻布大の学生さん、都庁や東村山市役所の方々、一般の市民ボランティアの方々、そして西武狭山丘陵パートナーズの方々など、総勢約 50 名で魚類等調査と清掃を行いました。今回は池の水をほとんど抜いた状態での作業を想定していましたが、午前中は残っている水の量も多く、堰堤やボートからの投網を中心に魚の捕獲を行いました。池底が泥沼状態ということもあり、思うように魚を捕獲することができない状況でした。午後になり、水位が下がってきた段階で、投網が中心でしたが、大量のコイやゲンゴロウブナが、少し間をおいて大量のオオクチバスを捕獲することができました。しかし、残念ながら捕獲終了時間の 15 時までには水を抜ききることができず、まだ多くの魚類等が池に残っていると捕獲作業をあきらめざるを得ませんでした。



今回の魚類等調査+ 清掃で思ったことがいくつかあります。①池の水位の管理（作業開始時にどこまで水位を下げるのか）の難しさです。3月の北山公園「しょうちゃん池」の掻い掘り時もそうでしたが、魚類等の生息のため前日までに水を抜きすぎるわけにもいかず、かといって効果的な作業を行っていくためには、作業スタート時の水位も下げておく必要がある

ところでは、この加減がとても難しかったと思います。②排水効率を上げるため、ポンプの吸水口がつかまらないようにする工夫がとても重要であると思いました。

技術的な問題のほか、③特定外来種は当然のこととして、どの範囲の魚類等を処分するのか、事前にきっちりとコンセンサスを得る必要があったこと、④カメ類（特に特定外来種）の捕獲の難しさを感じました。⑤投網を打てる人が限られていたこと。継続的に調査等を実施していくのであれば、かっぱの会として投網師の養成を行なっていく必要があります。これ以外にも反省会でできたことは多数ありました。



捕獲された45cm のオオクチバス

ともあれ、今回は貴重な体験を得ることができ、北川流域のブラックバス等を防除していくための大きな一歩であったと感じています。今後も北川流域が在来生物あふれる自然度の高い川にするために魚類調査を継続していくこと、関係団体と連携して再度、魚類等調査を行っていくことを視野に入れて活動を行っていきたいと思います。

事故やケガもなく無事終了することができ、参加いただいた皆様に深く感謝いたします。お疲れさまでした。

（清水）

壮絶な泥との戦い



魚類調査結果 (かつぱブログに詳報)

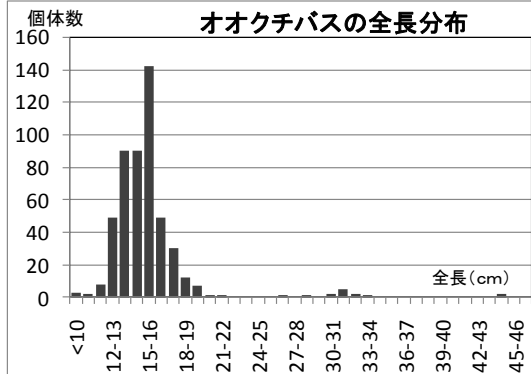
●調査方法等 池の水を水中ポンプで減らし、投網と手網で採捕し、種別個体数の計数と魚類については全長の計測を行いました。

●調査結果 魚類：泥まみれになり奮闘した結果、オオクチバスやコイなど計8種、990個体を採捕しました。うち、半数が特定外来生物に指定されたオオクチバスで、コイ、ゲンゴロウブナの個体数がこれに準じました。2個体採捕したカムルチーと合わせると、明らかな人為的放流によるこの4種で全体の9割を占めます。さらに、ギンブナもコイなどとともに放流されたものと思われます。

一方、地域の在来種と考えられるのは、モツゴ、ウキゴリ、トウヨシノボリの3種のみで、個体数は3種合わせても47個体であり、全体の5%にも至りませんでした。

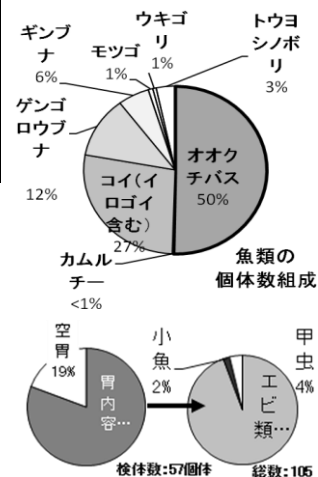
宅部貯水池 魚類調査結果

	種 名	捕獲数	備考
魚類	オオクチバス	498	放流
	コイ(イロゴイ含む)	271	放流されたもの
	カムルチー	2	放流
	ゲンゴロウブナ	117	放流されたもの
	ギンブナ	55	放流されたもの?
	モツゴ	8	
	ウキゴリ	6	
	トウヨシノボリ	33	
	合 計	492	
その他	オオヤマトンボ	2	
	テナガエビ	多数	
	アメリカザリガニ	2	外来種
	モクズガニ	5	
	クサガメ	2	放流



採捕数の半分を占めたオオクチバスは、大半は全長20cm以下の未成魚で、最大個体は全長45cmでした。小魚が少なくこともあり、未成魚はテナガエビを主食としていました。

特定外来生物であるオオクチバスは、計測後すべて処分しました。



●まとめと課題

水を減らして行った今回の本格的な捕獲調査で、池内に棲む魚類のほとんどが国内産・国外産含めて人によって放流された種類で占められていること、魚類や小動物の種類が少なく、水草も無いことが判りました。原因のひとつである特定外来生物のオオクチバスをはじめ、外来種のカムルチーなどは、当日、ほとんどが池内から除去されたと考えていますが、いまだに生息しています。本来多数が生息していたはずのモツゴやトウヨシノボリなど外来の小鱼やいろいろな水生生物が、バランス良く生息する多様性の高い池にもどすためには、今後も継続的な状況把握と順応的な対処が必要です。また、オオクチバスに限らず身勝手な生き物の放流が、それまであった生息生物のバランスを壊す原因となる場合があることを訪れる人に理解してもらうことや、すでに多数生息する大きく育ったコイの悪影響（捕食圧・水の富栄養化・濁りの発生・・・）についても考えていく必要があります。



ブラックバスの山



ここでは貴重な在来種 トウヨシノボリ

釣り禁止であるが、多数のルアー、釣り針が



底はぬかるみ、やむなくボートから投網を打つ



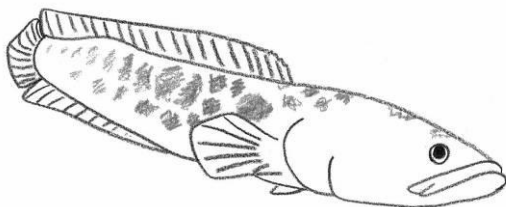
巨大なコイ

かつぱの楽校 生き物講座 56

溺れる？猛魚

先日行われた、たっちゃん池(宅部貯水池)の魚類調査で、全長 70cm を超えるカムルチーが2 尾捕れました。誰かが放流したものですが、要注意外来生物ということで、池からは除去しました。

この魚は、近縁のタイワンドジョウとともに‘雷魚’とも呼ばれ、魚やカエル、水鳥のひなまで食べる肉食魚で、1 m にもなることから、ルアー釣りの対象としても人気があります。75 年程前に、朝鮮半島から移入されたいい。



この魚には変わった所があります。ひとつは、えらに特殊な器官があって、空気呼吸ができることです。常温なら丸一日位は水がない所でもへっちゃらですし、酸素がない汚れた水にも棲めます。その代り、水温の高い時に全く空気呼吸ができないと‘溺れて’死んでしまうらしいです・・・。

二つ目は、水草を使って真中が凹の丸い形の巣を作り、そこに卵を産んで親が保護することです。子供を育てるにはとても有効な方法と考えられますが、たっちゃん池には水草が育ってないのて折角の特性は活用できず・・・。この辺がオオクチバスに負ける理由かもしれません。

(康)

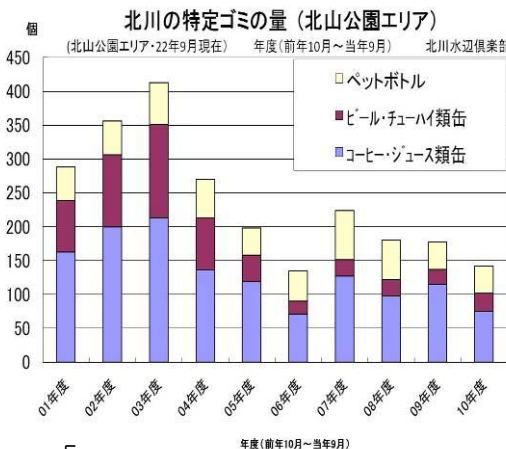
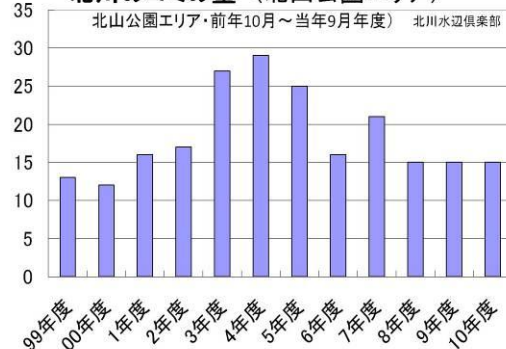
【報告】北川のゴミの量

北川かつぱの会では、毎月第二土曜日に定例川そうじを実施しています。川そうじで収集したゴミについては経年的にデータの蓄積を行なっていますが、このほど2010年度のデータがまとまりました。北川のゴミの量は一時よりは減っているものの、近年においてはゴミの量が減るような傾向にはありません。北川かつぱの会では、今後も粘り強く川そうじを継続し、北川の「ゴミ0」を目指したいと考えています。(データは松村)

単位:

袋(40ℓ用)

北川のゴミの量 (北山公園エリア)



———2011年 1月～3月 活動スケジュール———

定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時

1/8, 2/12 集合：北山小正門前

川端会議

2/5 (土) 10～12:00;ふるさと歴史館

北山公園周辺の環境整備について、市、市民、市民団体の話合いの場。今回は北川かっぱの会から寄付した環境掲示板の運営方法等についても検討予定。

かっぱ定例会

8頁参照

北川かっぱの会新年会

1/15 (土) 17:30～ (MARU 茫々亭)

北川かっぱの会総会

2/26 (土) 午後、開催予定です。

東村山市みどりの楽校 野鳥観察会

2/13(日)八国山緑地 集合：西武園駅

詳細は 1/15 付け市報に掲載予定

【報告】第30回北川クリーンアップ

秋空に恵まれ、比較的暖かい中で、クリーンアップが実施されました。

今回から集合場所が〔北山小前〕〔精心幼稚園勝陣場橋〕に〔桜並木公園〕が集合場所に加わり、定刻 10 時よりスタートいたしました。

雨振りが続いたので、川の水量が多かったのですが水は澄んでおり、オイカワ、小鮒等元気に泳いでいる姿が確認できました。

下流の落差口降は、従来にまして深く感じました。クリーンアップ前に、草刈（一部を除き）がしてあったので、全体に作業がスムーズに行われました。

今回は、特筆すべき大型ごみは、工事現場で使用していた一輪車で大変重く引き上げるのに大変でしたが、他には大型のごみは少なかったようです。

今回もいっぱい集まったゴミ



今回は、精心幼稚園の集合場所に一般参加していただいた方がおりました。

非常に熱心にゴミと格闘していただきこちらでブレーキをかけぐらいでした。これからも、川に関心を持っていただける方の参加をお待ちしております。(Y)



「環境掲示板」を設置しました

11/27 (土)、東村山市役所のご協力のもと、北山公園「しょうちゃん池」の前に（仮称）「環境掲示板」の設置工事を行いました。この掲示板は、前号でお知らせの通り、北山公園と八国山緑地が「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に選定された副賞として助成を受け設置したものです。

今後の掲示内容や運営方法について、定例会で議論し、2月5日(土)開催の「川端会議」の場で提案していく予定です。よい知恵をおかしてください。



【報告】 八国山緑地懇談会

11月23日に第2回都立八国山緑地懇談会（主催：西武・狭山丘陵パートナーズ）が開かれ、かっぱの会から3名が参加しました。

午前中は現地を視察、西入り口広場から尾根道を通り、二つ池を見て回りました。アズマネザサにより生物多様性が失われつつあること、過去に行った更新伐採の遷移が進んでいること等、参加者が認識を共有しました。また、腰掛ベンチ・泥落とし・駐輪場等の新たな設置について説明を受けました。

午後は多摩湖ふれあいセンターでワークショップ方式による意見交換が行われました。八国山緑地のコンセプトとして、「歴史・人・自然をつなげる里の道」を目指し、①昔ながらの里山景観への環境整備、②散策コースの整備、を公園づくりの方向性として確認されました。そのための方策として、全員で「歴史・人・自然」コース案（見どころ）を出し合い検討しました。また、ふたつ池周辺の保全のためアズマネザサの伐採、高木の更新、鳥類を主とするサンクチュアリ化について検討しまし

た。より良い八国山実現のため、参加者全員（一般市民・市民団体・行政等約30人）が前向き・協力的な大変有意義な会議でした。（ビー永島）



【報告】 北川の河畔林伐採される！

10月のある日、北川の将陣場橋（諏訪町）のすぐ下流右岸側にあった、ちょっとした河畔林が全て根元から伐採されて消失していました。10本程のクヌギ・ケヤキの高木を主とする貴重な林で、そこはコンクリートブロック護岸の上の敷地ながら公有地だったことから、緑の主管の市役所みどりと環境課に嚴重に抗議しました。

林に隣接する民家の苦情により、みどりと環境課が知らないうちに、道路課が勝手に市民の共有財産である林を伐採してしまったとのことです。市役所内部の縦割り行政の弊害により、貴重な緑が失われることは今までも再三あり、その都度市役所は善処を約束するだけで一向に改まりません。ましてや現在、市民ボランティア委員による緑の基本計画の改訂が、数年間の作業を経て集結するところでもあり、これらの努力を無にする行為でもあります。

みどりと環境課長は市役所内部の横の連携実施と、伐採跡地への幼木植栽の検討を約束していますので、今後の推移に厳しい目を注ぐ必要があります。

（ビー永島）

インフォメーション

会費納入のお願い

かつば通信の印刷、郵送費（マスコミや環境関係の識者、他の環境団体への周知経費を含む）や夏まつりの消耗品などの経常的な経費は、皆様からの会費を基に活動を行なっています（財団や企業からの助成金は、経常的な経費への支出は原則として認められない）。最低限の活動を行なっていくためにも、年末までに会費（年間3000円）の振込を切にお願いいたします。今回、10年度の会費未納付の方には「振込用紙」を送付させていただいております（既に振込済の方にも振込用紙を送付している可能性があります。悪しからずご了解ください）。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

北川かつばの会 会議日程

臨時定例会 1月8日(土) 13:30~15:30
MARU茫々亭; 2011年度の重点活動事項案、2011年度助成事業の検討、北山公園の整備の方向性について意見交換を予定

定例会 1月15日(土) 15:00~17:30
MARU茫々亭; 北山公園内設置の環境掲示板の運営案、オオフサモ駆除作戦の検討、4月頃までの活動予定等について検討予定

●編集後記

前号で下水道普及率について記した。普及率の母数は人口とのこと。東村山市では非普及率 1.5% = 2000 人分強となる。2000 人の生活排水が毎日川を汚す。普及率アップの進捗は遅々として進んでないらしい。（遊星菌車）

かつばの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方（参加、入退会自由）を広く募集しております。

●**会費** 年間3000円。「かつば通信」(年5回)をお送りします。

●**問い合わせ・申込み先**

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●**会費振込先**

上記へ現金書留または

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店(普)

3605694〕

加入者名 北川かつばの会



かつば通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。

『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価 1000 円 送料 390 円

『北川流域マップー未来の川へー』

北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2 両面版 頒価 200 円

●**発行** 北川かつばの会 東村山市野口町 TEL 042-395-7705 渡辺